

ウィーンナー ムジーク セミナー
ウィーン国立音楽大学
オンラインマスタークラスのご案内

Wiener Musikseminar



株式会社東京国際ツアーズ
後援 一般社団法人 東京国際芸術協会

<ご案内>

音楽の道を志す皆様にとって、海外の音楽大学やセミナーにおいて様々な教授の指導を受けることは大きな学びであると思います。しかしながら、新型コロナウイルスの影響により今もなお海外渡航の困難な状況が続いています。そこで、皆様の学びの機会として Wiener Musikseminar のオンラインレッスンをご案内いたします。同セミナーは、オーストリア大統領の支援のもと来年 54 年目を迎える歴史あるセミナーであり、これまでも多くの音楽家の皆様が受講されています。将来の海外留学のご準備としても、ぜひお勧めいたします。

<セミナー開催期間・対象楽器>

2024年2月14日(水)～2月23日(金)

- ピアノ科： Vladimir KHARIN (ウラジミール・カリン)
Alexander RÖSSLER (アレキサンダー・ロスラー)
ヴァイオリン科： Elisabeth KROPFITSCH (エリザベート・クロプフィッチ)
声楽科： Sona GHAZARIAN (ソーナ・ガツァリアン)
Claudia VISCA (クラウディア・ヴィスカ)
フルート科： Erwin KLAMBAUER (ウエルヴィン・クラムバウアー)
クラリネット科： Kurt SCHMID (クルト・シュミット)

<セミナー内容>

- ・60分レッスン x 4回 ※原則として16～21時に実施
- ・事前オリエンテーション(オンライン受講に際し必要な設定の説明を含む)
- ・オンラインによる参加者コンサート(YouTubeにて限定配信予定)

<参加者特典>

- ・次回東京国際芸術協会主催(または協賛、後援)の海外マスタークラスにご参加される際の事務手続代金を50%割引いたします
- ・ウィーン国立音楽大学での授業の様子や大学構内の様子をリモートでご覧いただけるプログラムをご用意いたします(時差の関係上、夜間の時間帯でのご案内となる可能性あり)。
- ・ウィーン留学をご検討中の方向けに、現地での生活の様子や留学に向けて必要なご準備・手続き等についての説明会を開催いたします。

<講習会参加費> ※本セミナーは海外マスタークラス助成オーディションによる助成対象外となります

- 受講料 : ￥129,400 (4レッスン分)
通訳料(希望者のみ) : ￥28,900 (4レッスン分)
手配手数料 : ￥27,500 (送金手数料を含む)

※通訳を希望しない場合でも、受講時の教授判断により必要となる場合があります。

<講習会開催場所>

基本的にご自宅でのリモートレッスンとなります(レッスンツールには Zoom アプリを使用いたします)。ご自宅でのレッスン受講が難しい場合には、弊社にて会場手配を承ります。その場合には、別途会場使用料を申し受けます。

《弊社による手配可能な会場例》

- ・東京音楽学院 西日暮里駅前校 荒川区西日暮里 4-1-20 ACビル2階
JR 山手線・京浜東北線・メトロ千代田線 各「西日暮里駅」徒歩1分
- ・東京音楽学院 日暮里駅前校 荒川区西日暮里 2-19-4 たちばなビル9階
JR 山手線・京浜東北線・常磐線・京成線 各「日暮里駅」東口すぐ

<申込締切日>

2024 年 1 月 19 日（金） 17:00 必着

<修了証>

コース修了後にディプロマ（修了証）をメールにてお送りいたします。

<申込方法>

お申込金（内金）として 30,000 円を以下の口座にお振り込みの上、申込書、振込明細書（お客様控え）のコピーと共に弊社まで郵送またはファックスにてお送りください。

【お申込金振込先口座】 三井住友銀行 日暮里支店 普通口座 8304687 (株)東京国際ツアーズ

<キャンセルについて>

受講料および手配手数料につきましては、お申し込み後のご返金はいたしかねます。

通訳料につきましては、各セミナー初日の 1 週間前より 100%の取消料を申し受けます。

なお、体調不良等やむを得ない事情により予定されたレッスンを受講できない場合には、レッスン日の 3 営業日前までのお申し出に限り、振替日程を手配いたします。ただし、先生のご都合により次回レッスンで 2 回分を続けて受講となる場合がございます。

<その他>

- ・ 受講方法等の詳細につきましては、レッスンスケジュールの確定後、個別にご案内させていただきます。オンラインレッスンに必要な機材については、各自でご用意をお願いいたします。事前オリエンテーションの際に接続時の音響調整等を行います。
- ・ 東京国際芸術協会は、レッスンの受講手続きに必要な個人情報を(株)東京国際ツアーズと共有いたします。またレッスン運営に関する手続きを(株)東京国際ツアーズへ委託いたします。そのため、お申込後のご案内は(株)東京国際ツアーズよりご連絡差し上げます。ご不明な点等 ございましたら、(株)東京国際ツアーズまでお問合せください。

<お問合せ・お申込み先>

株式会社東京国際ツアーズ

観光庁長官登録旅行業 1353 号 日本旅行業協会正会員

〒116-0002 東京都荒川区荒川 3-74-6-301

TEL 03-6806-7820 FAX 03-3806-8556

master@ti-tours.com

ウィーンナー ムジークセミナー 担当教授

ピアノ教授：

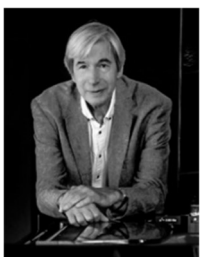
Vladimir KHARIN ウラジミール・カリン



モスクワ生まれ。6歳よりモスクワ音楽院の英才教育コースでピアノを始める。モスクワ音楽院を卒業後、ドイツ・エッセンの Folkwang 芸術大学大学院へ進学、優秀な成績で同大学院を卒業。ドイツ、オーストリア、CIS 諸国、フランス、イタリア、日本、

中国、インドネシアのコンサートホールより、国際コンクールの受賞者として、オーケストラとの共演、リサイタルや室内楽のために招待を受けている。ルール地方のピアノフェスティバルに数回出演し、ジョナサン・ダーリントンの指揮によるデュースブルク・フィルハーモニー管弦楽団との共演を果たす。2009 年からウィーン国立音楽大学で才能のある子ども達や若者へのピアノ指導を行っている。彼の生徒たちは、数多くの奨学金や国際コンクールで 1 位を受賞している。それらにはドイツのエトリンゲンでの国際コンクール 1 位（2020 年）、チェコ共和国のコンチエルティーノプラハ 1 位（2021 年）、2019 年モスクワで開催された若いミュージシャンのための XX コンペティション「くるみ割り人形」での黄金のくるみ割り人形賞、第 3 回モスクワ国際「ウラジミール・クライネフ」ピアノコンクール（2019）1 位、デンマークのアールフスで開催されたピアニストの国際コンテスト（2019）2 位および聴衆賞の受賞等を含む。教師としてのウラジミール・カリンの名前は、世界に広く知られている。審査員として招致される他、世界のさまざまな都市でマスタークラスの指導者として招待を受けている。

Alexander RÖSSLER アレキサンダー・ロスラー



ウィーン国立音楽大学元教授。シュトゥットガルト、ミュンヘンにて K. H. ディール、R. ケラーに師事。フィレンツェの M. ティポより奨学金を受ける。ウィーン、ベレージャにて S. ノイハウスのマスタークラス受講。1981 年首席にて卒業。バルセロナコンクール優勝。ポーランドではシマノフスキー

受賞記念メダルを授与された。1973 年以降、ソリストまたは著名なソリストの室内楽パートナーとしてヨーロッパや海外で多くのコンサートを行った。1990 年以降、ヨーロッパ、韓国、日本のマスタークラスを定期的に受け持つ。ピアノコンクール審査員。ラジオ出演や CD レコーディング（シューベルト、シューマン、ブラームス等）を行う。レパートリーはブラームスとベートーベンが中心となるが、ウィーンクラシック、シューベルト、メンデルスゾーン、シューマン、スクリャービン、シマノフスキー、プロコフィエフも得意としている。現代作品ではジャズ、ブルース、自由即興が挙げられる。

ヴァイオリン教授：

Elisabeth Kropfitsch エリザベート・クロプフィッチ



2011 年 10 月よりウィーン国立音楽大学教授に就任。ウォルフガング・シュナイダーハーンに師事。長年アイゼンシュタットのハイドン音楽院で教鞭をとる。国際的な演奏活動を行う一方 EMI・フンガルトンから CD をリリース。愛器は 1751 年製作のガダニーニ“ d'Elia 1751”。

声楽教授：

Sona GHAZARIAN ソーナ・ガツァリアン



ベイルート大学心理学科卒業。最優秀の成績で声楽コースを修了する。国際的に名高いオペラハウス（ロンドン・コベントガーデン、パリ国立オペラハウス、ウィーン国立歌劇場、ミラノスカラ座、ニューヨーク・メトリポリタン歌劇場、カーネギーホール、ブエノスアイレス、日本、その他）で 70 以上のオペラに出演。

カルロス・クライバー、コリン・デービス卿、H. B. カラヤン、ゲオルグ・ショルティ卿とリッカルド・ムーティ等著名な指揮者を共演、38 年間世界的なキャリアを積む。国際マスタークラスで指導、声楽の技術とオペラ解釈、リート、オラトリオに焦点をあてる。たぐいまれな功績で多数の賞を受賞。名誉歌手、芸術と科学の第一級金メダル受賞者としてオーストリア共和国から栄誉を与えられた。

Claudia VISCA クラウディア・ヴィスカ



フィラデルフィア、カーティス音楽学院卒業。国際交換プログラムによって、モーツァルトの声楽作品を専門にウィーンで学ぶ。過去 26 年間で欧州の 25 以上のオペラハウス（アムステルダム、ベルリン、ケルン、ミュンヘン、

ザルツブルク、チューリッヒなど）で客演し、75 以上のオペラ、オペレッタ公演において 2000 曲以上を歌っている。ルドルフ・ゼルキン、ヨーヨー・マ、グアルネリ四重奏団のメンバー、ユージン・オルマンディ、イストヴァン・ケルテス、サンドル・ベグ、ブルーノ・カニーノ、サルヴァトーレ・アカルド、ローマ弦楽四重奏団、ジャン・ポール・ランパル、ホセ・カレーラス、ブラシド・ドミンゴなどの有名ミュージシャンと共演している。ケルンの音楽アカデミー、ウィーン国立音楽大学で教授を務め、マスタークラスではボーカルテクニックと解釈法を指導する。彼女の最も輝かしい経歴は作曲家レナード・バーンスタイン氏指揮のウエストサイドストーリーでマリア役を演じたことである。彼女の生徒は国際コンクールの優勝者であり世界の舞台上で活躍している。

フルート教授：

Erwin KLAMBAUER ウエルヴィン・クラムバウアー



リンツ・アントン・ブルックナー大学
とウィーン音楽大学にてウォルフガ
ング・シュルツに師事。1993 年から
2013 年までウィーン放送交響楽団
の首席フルート奏者、2014 年からウ
ィーンシンフォニカーの首席フルー
ト奏者。ヨーロッパ、アメリカ、アジ

アでマスタークラスを担当。2004 年から 2008 年までウ
ィーンコンセルバトリー教授。2008 年からグラーツ音楽
大学教授を務める。

クラリネット／サクソフォン教授：

Kurt SCHMID クルト・シュミット



ウィーン生まれ、R.イエッテル
のもとウィーン大学で学ぶ。
1963 年より NTO のクラリネッ
トソリスト。1969 年より
Viennese music にて勤める。
1970 年より指導経験を積み、
1974 年ウィーン音楽セミナー教
授となる。1986 年以降、作曲に

焦点をあて、1993 年、ウィーンクラリネットオーケスト
ラの芸術監督、指揮者となる。またオーストリア、日本、
韓国でもマスタークラスを受け持つ。1996 年よりウィー
ン音楽セミナーの芸術部門副代表。1999 年より交響楽団
オラデアのディレクター、指揮者となる。2002 年よりル
ガンスク・フィルハーモニック・オーケストラ芸術監督、
正指揮者。2003 年よりルガンスク音楽大学教授。2004
年 3 月から、ルガンスク音楽大学にて名誉博士となる。